

# 競技上の注意事項とお願い

1. 本大会は、2019年度（財）日本陸上競技連盟競技規則および本大会の開催要項によって運営する。
2. 本大会は、（財）日本陸上競技連盟広告規定を適用する。
3. ウレタン舗装以外の部分を通るときは、スパイクシューズは脱ぐこと。
4. 貴重品は自分の責任において保管すること。更衣室のロッカーを使っても良い。
5. 招集所（競技者係）は第2ゲート外側付近に設ける。招集時刻に遅れた場合は競技に出場できないことがあるので、時間を厳守すること。  
招集の時刻は   トラック競技   競技開始の30分前に開始し20分前に完了する。  
                      フィールド競技   競技開始の50分前に開始し40分前に完了する。
6. トラック競技での、800m以上のレースと4×400mリレーのアンカーは、右腰に腰ナンバー標識（主催者準備）を着けること。3,000m以上のレースは、左・右両腰に着ける。また、男・女5,000mWは胸・背も別ナンバー標識を着ける。  
いずれも、招集時に競技者係より受取り、フィニッシュ地点で返却すること。
7. 男子5000m1組と女子5000mの混合レースの腰ナンバー標識、及び、男・女5,000mWの胸・背の別ナンバー標識と腰ナンバー標識のナンバーは通し番号とする。
8. トラック競技は、荷物運搬を行う。競技者係でビニール袋(70 )の配布を受ける。（大会期間中使用する）競技者係で、ナンバーと氏名を記入する。スタート地点で衣類を入れ、所定の位置に置く。役員が運搬する。フィニッシュ地点で荷物を受け取り、退場する。
9. リレーオーダーは、招集完了時刻の1時間前までに競技者係に提出すること。
10. スパイクシューズのスパイクは全天候舗装用とし、その長さは9mm以下とする。  
ただし、走高跳、及び、やり投げは12mm以下とする。
11. 少年女子B100mHのハードルの高さ/ハードル間は、0.762m/8.50mとする。
12. 男子・女子走幅跳は、3回目までの試技はA、Bピットで行う。トップ8決定後の4回目以降の試技も選手は3回目までと同じピットで行う。
13. 男子三段跳はA、Bピットで行い、踏切板の位置はAピットは13m、Bピットは11mとする。女子は9mとする。
14. 競技用具は主催者が用意したものを使用することとする。ただし、棒高跳の棒以外の個人所有の用器具の使用希望者は、競技開始1時間前までに検査申請書（検定場所に有る）に記入して、係員による検査を受けること。その場合、合格したものは主催者が預かり、出場者全員が使用できるものとする。  
検査場所は用器具庫1（第4ゲート横）で行う。競技終了後、同場所で返却する。
15. バーの上げ方は次のとおりとする。  
走高跳：男子   1m65 から 2m00 までは5cm きざみ。その後は3cm きざみ。  
                  女子   1m35 から 1m55 までは5cm きざみ。その後は3cm きざみ。  
棒高跳：男子   2m00 から 3m60 までは20cm きざみ。その後は10cm きざみ。  
                  女子   2m00 から 10cm きざみ

16. 競技開始前の場内練習は第1日(5/3)は9時まで、第2日(5/4)は8時30分までとする。ハードルの練習は、100mH及び110mHはホームストレートの6~9レーンを使用する。また400mHはスタートから3台目までとし、6~9レーンを使用する。(女子:6・7 男子:8・9レーン)
17. 補助陸上競技場での練習は8時から競技終了までとする。  
補助陸上競技場は、1・2レーンは中・長距離練習、3~5レーンはスタート練習、6~8レーンはハードル練習とする。  
ハードル設置は、スタートから3台目までとする。
18. 補助陸上競技場でのやり投の投てき練習は第2日(5/4)の8:30~9:10(女子)及び12:20~13:10(男子)のみ可とする。  
また、ちよるる広場でハンマー投、円盤投の投てき練習ができる。第1日(5/3)については役員の指示に従い、安全には十分注意して行うこと。第2日(5/4)については本部にその旨を届け、責任ある指導者のもとに行うこと。
19. 携帯電話・ラジオ・CD、その他通信が可能な機器の競技場内への持ち込みを禁止する。
20. 表 彰  
3位までに入賞した者には賞状を授与するので成績発表(アナウンス)後、表彰係で受け取ること。
21. 競技中に発生した傷病については、本部で応急処置は行うが、その後については本人の責任において処置すること。
22. 競技者が走行不能(即ち歩いたり、立ち止まったり、倒れた状態)となった場合は、本人がなお競技続行の意思をもっていても、審判長(または権限を委譲された審判員)から中止を命ぜられた場合は、直ちに競技を中止しなければならない。
23. 芝生内で水分補給をする場合は、「水」のみとする。スポーツドリンク等は持ち込まないこと。
24. メインスタンド1階への選手の入退場は第1・4ゲート部の出入口を利用すること。(エントランスホールは通行禁止)
25. 雨天走路の利用は一方通行(東から西)とする。又、競技開始時刻後の出入りは北側出入口のみとする。
26. 競技終了後は、ダッグアウトを通過して第1ゲート退場口へ行くこと。
27. 競技場外のジョギングコースは、スパイクの使用、ハードルの設置は禁止する。
28. 勝手に壁、扉等にテープや押しピン等での張り紙は禁止する。
29. 本大会8位までの入賞者(男・女5000mWは3位まで)で山口陸上競技協会登録者は、中国五県陸上競技対抗選手権大会への出場権が与えられる。但し、少年B種目及び男・女3000mは対象種目ではない。  
同大会への申込等、詳しくは『陸上山口』を熟読して下さい。  
大会要項・申込書は受付に置いています。また、申込み先は次のとおりです。

〒753-0815 山口県山口市維新公園4丁目4番 維新百年記念公園陸上競技場内

山口陸上競技協会事務局 あて

Tel 083-920-6125 (Fax 兼) 携帯Tel 090-1187-7769 (山縣) Eメール [yaaf@yaaf.jp](mailto:yaaf@yaaf.jp)

弁当などの容器を『空缶入れ』には絶対に入れないでください。

競技場内にゴミを残さないよう、きれいな競技場にしてお帰りください。

競技場エリア内は全面禁煙です。(スタンド、コーンコース、及び競技場周囲を含む)